

鹿屋 土地改良区合併 予備契約書に調印



3月2日、西祓川町集落センターで、西原土地改良区と郷田土地改良区の合併予備契約書調印式が行われました。

これは、両土地改良区が合併に合意することを予備契約書に調印したものです。今後は、認可のための手続きを経て平成21年度中には、面積約250ha、組合員数約680人の新しい「西原土地改良区」が誕生することになります。

鹿屋 みなと食堂が1万食突破



3月21日、古江町の鹿屋市漁協直売所みなと食堂で「1万食突破記念感謝祭」が行われました。

みなと食堂は昨年11月3日にオープンし、106日目で1万食（1日平均94食）を達成しました。1万人目となった田中誠さん（西原4丁目）は、「新鮮ですごくおいしい。また食べに来たい」と話し、鹿屋市漁協から記念品の「かのやカンパチ」と「甘エビ」が贈呈されました。

鹿屋 部員6人の花岡中が 県大会で初優勝



1月から2月にかけて行われたバレーボールの「第28回県下中学校新人大会」で初優勝を果たし、九州大会への出場を決めた花岡中学校男子バレーボール部が、3月6日、市役所を表敬訪問しました。

同部の部員は1・2年生の6人。一人でも欠ければ試合に出場できないという条件の中、1セットも落とさず6試合を勝ち抜いて優勝という快挙を成し遂げました。

志布志港の新埠頭が 本格運用



3月28日、志布志港で、国と県が多目的国際ターミナルとして整備を進めている新若浜地区に完成したコンテナ船専用埠頭の本格運用が始まり、記念式典が行われました。

式典には、大隅総合開発期成会会長として出席した山下市長のほか、国、県や貿易関係者など約200人が参列。関係者と地元の子どもたちによるテープカットが行われ、本格的な運用開始を祝いました。

鹿屋 国道220号古江バイパス (古里～花岡間) を起工



3月28日、花岡地区公民館で、国土交通省大隅河川事務所が改良を進めている国道220号古江バイパス（鹿屋市白水町～垂水市新城の延長約7.5km）のうち、古里～花岡間1.3kmの起工式典が行われました。

工事関係者や地元住民など約100人が参加して行われた式典後には、関係者と保育園児による鍬入れ式が行われ、工事の安全を祈りました。

「かのやおもちゃ病院」 が設立



3月12日、リナシティかのやで「かのやおもちゃ病院」が設立されました。この病院は、おもちゃの修理を通じて子どもたちに「ものの」の大切さを伝えるとともに、中高年の生きがい作りにつなげようと県下で初めて設立されたもの。同病院は、毎月第1土曜日の9時から12時まで、リナシティかのや2階福祉プラザでおもちゃの修理を行っています。